

"Morphine Desert -trio acoustic-"

北川とわ piano
小美濃悠太 contrabass
岩瀬立飛 drums

※マスクの着用を必ずお願いいたします。
※ご入場の際、備え付け、又はご持参の消毒液にて手を消毒して下さい。

2021 **07月10日(土)**

開場 17:30

開演 18:00

(90分1ステージ小休止有) (1drink=600円~)

MC=3800円 +2drinks order

CAFE **B**EULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



岩瀬立飛

日野元彦、坂田稔、Peter Erskine 等に師事、その類まれなセンスと独特のグルーブで前田憲男、松岡直也、佐藤允彦、国府弘子、エリックミヤシロら数多くのミュージシャンから厚い信頼を集める "Tappy" こと岩瀬立飛。自身が所属するバンド「宴」をはじめ、常にポジティブな姿勢でチャレンジし続けるその姿は、まさにリズムの錬金術師といったところか。ジャズからオーケストラまで扱える作編曲家としても手腕を発揮する岩瀬だけに、その演出にも期待がかかる！

北川とわ

国立音楽大学を経て桐朋学園大学研究科作曲専攻修了。2016年よりプログレッシヴジャズバンド Trussonic-towa kitagawa trio-として自身のリーダープロジェクトを始動。2021年4月活動終了までに5枚のアルバムリリースと共に全国でライブ活動を行う。2021年 Trussonic の音楽性を継ぐ新たなプロジェクトとして Morphine Desert -trio acoustic- を始動。

小美濃悠太

1985年、東京生まれ。一橋大学社会学研究科修了。幼少の頃より続けていたエレクトーンを通じてジャズに出会う。高校に入学後、ジャズを演奏できる楽器を習得するために吹奏楽部に入部。コントラバスとエレクトリックベースを平行して学ぶ。大学進学後、千葉大学モダンジャズ研究会に入部。本格的にジャズを学び始める。在学中から演奏活動を開始し、現在は東京を中心に主都圏全域で活動している。ジャズのフィールドにとどまらず、ポップスやミュージカルなど、幅広い分野で活躍している。ジャズベースを山下弘治氏、アルコ奏法を高西康夫氏、斎藤輝彦氏に師事。